

## 韓国東国大学薬学部訪問団受け入れ報告

鍋倉 智裕

薬学部国際交流委員会

### 概要

韓国東国大学薬学部訪問団を2014年8月26日(火)から8月29日(金)に受け入れた。5年生1名・4年生3名・3年生1名の5名の学生と引率教員1名が来日した。本学日進・楠元・名城公園キャンパス、大学病院やドラッグストアなどの見学を行った。東国大学生と本学学生が見学や食事をともにし、交流を深めた。

### 東国大訪問団

5年	金 兌暻	(キム テギョン)	女
4年	李 炯桓	(イ キョンファン)	男
4年	呉 主勇	(オ ジュヨン)	男
4年	宋 美京	(ソン ミギョン)	女
3年	金 珉澈	(キム ミンチョル)	男
教員	李 冲鎬	(イ チュンホ)	男

### 日程

2014年8月26日(火)から8月29日(金)までの3泊4日である。表1に旅行・見学日程を示した(表1)。

### 国際交流セミナー

8月27日(水)午後引率教員の李(Choongho Lee, Ph.D.)先生に講演を行って頂いた。李先生はソウル国立大学薬学部を1999年に卒業後渡米され、米国シカゴ市ノースウエスタン大学医学部微生物学で学位(Ph.D.)を2006年に取得された。2006年から2011年まで米国スタンフォード大学医学部でポストドクトラルフェローとして抗ウイルス薬の研究に従事された。2011年に韓国に戻られ、東国大学薬学部微生物学のAssistant Professorを務められている。講演のタイトルは、「Grapevine root as a drug candidate for hepatitis C」であり、韓国植物抽出液から抗ヒトC型肝炎ウイルス活性のある化合物を探索する興味深い発表であった。見出された化合物は既存のC型肝炎ウイルス治療薬よりも効果が強くかつ細胞毒性が低いという点が注目され、聴講していた本学教員から多くの質問があり、今後のさらなる活発な学術交流が期待されるものであった。

### 歓迎会

8月27日(水)夕刻に薬学部大会議室にて歓迎会を行った。本学大野学長より歓迎のご挨拶、東国大李先生からのご挨拶に続き、東国大学生5名が一人ずつ英語で自己紹介を行った。覚えたばかりの日本語を使う学生もおり、感嘆の声が上がった(図1)。引田国際交流センター長のご発声で乾杯が行われ、和やかな雰囲気での歓談が行われた。出席者は東国大訪問団と大野学長、引田国際交流センター長、櫛薬学部長、薬学部教員、先日の第2回韓国薬学研修に参加した学生などの薬学部学生、あわせて約30名であった。



図1 歓迎会(東国大李先生と5名の学生)

### 病院・薬局見学

8月27日(水)午前名古屋市立大学病院薬剤部を薬剤部長・医学研究科教授の木村和哲先生のご案内により見学させて頂いた。がん治療センターにおける外来がん化学療法のための、日本に数台しかないという高額なロボットによる注射薬の混合風景に驚嘆し熱心に見学していた(図2)。また、オートメーション化された医薬品の運搬システムなど最新の設備に興味深く観察していた。韓国ではまだ薬剤師が病棟などで患者に服薬指導する機会はそれほど多くないためか、入院時に患者とその家族が薬剤師から説明を受けることができると聞いて驚いていた。

8月27日（水）午後にはドラッグスギヤマ植田店をスギヤマ薬品人事部の新田和弘、川口晋平薬剤師のご案内により見学させて頂いた。韓国では病院のすぐ近くにある門前薬局が主流のため、今回訪問した広い駐車場を持ち OTC 医薬品や化粧品、日用品、食品なども扱う郊外型のドラッグストアは珍しいとのことで興味深く見学していた。韓国でも販売されている日本製の化粧品がここでは安価で入手できるとのことで、まとめ買いする学生もいた。



図2 大学病院薬剤部見学

#### 薬学部・名城公園キャンパス見学

8月27日（水）午後には本学薬学部の見学も行った。東国大薬学部は1学年36名と少人数のため講義室が小さいのに対して、本学の講義室や実習室が広いことに驚いているようであった。

8月28日（木）午前には本学学生とともに、本年4月に開設されたばかりの名城公園キャンパスを見学した。大学らしからぬ洗練された雰囲気や最先端の環境配慮型システムに興味深い様子で見学していた。

#### 観光

8月28日（木）に名古屋城や栄・オアシス21、松坂屋百貨店などを韓国薬学研修に参加した本学学生が案内し観光を行った。名古屋城二之丸庭園茶亭では抹茶を頂いた。お菓子を先に食べてしまうことや茶碗を回す作法など、日本の伝統文化の一端に触れることができ、うれしそうにしていた。行動をともにしているうちに本学学生とも打ち解けてきて、片言の英語・日本語・韓国語で積極的に交流を図っていた（図3）。



図3 名古屋城観光

#### 感想

普段あまり触れることのない他国での薬学教育・研究について知ることができ、また研究に関して討論することもでき、両校薬学部教員にとっても意義深いものだったと考えられる。両校の学生は、国は違っても同じ薬学を学ぶ学生同士ということで急速に親密になると同時に大きな刺激を与えあい、大変満足している様子であった。機会があればまた来日したいとの声もあった。今後ともこのような行事を通じて本学薬学部の発展に寄与していきたい。

表1 旅行・研修日程

8月26日(火)	
9:45	中部国際空港着、出迎え、大学マイクロバスで日進キャンパスへ
12:00-12:30	昼食(学院会館食堂)
13:10-14:20	トヨタ博物館
15:30-	自由行動(名古屋駅周辺)
8月27日(水)	
9:30-10:50	名古屋市立大学病院薬剤部見学
11:10-11:45	日泰寺参拝・散策
12:00-13:30	昼食
13:50-14:50	ドラッグスギヤマ植田店見学
15:25-16:25	薬学部見学
16:30-17:30	国際交流セミナー
18:00-20:40	歓迎会
8月28日(木)	
10:00-11:20	名城公園キャンパス見学(本学学生参加)
11:30-13:00	名古屋城観光
13:10-14:15	昼食(名城公園キャンパス猿Café)
14:30-	自由行動(栄周辺)
17:30-19:30	夕食(中日ビル屋上ビアガーデン)
8月29日(金)	
9:30-10:00	日進キャンパス見学、大学マイクロバスで空港へ
16:30	中部国際空港発